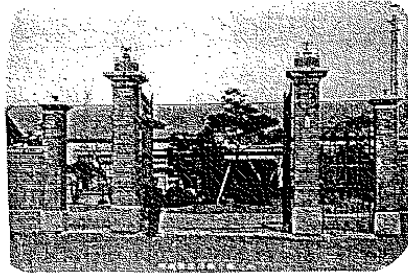


赤レンガ倉庫 (旧275号棟) の歴史

明治38年 (1905)

小石川 (現・文京区) にあった東京銃包製造所が、十条に移転してくる。

銃包製造所は、銃の弾薬などをつくる工場。日露戦争による弾薬不足をおぎなうため工場を拡張する必要があったんだ。



大正8年 (1919)

赤レンガ倉庫 (旧275号棟) 完成

その後、組織の名前は次々と変わるよ!

大正12年 陸軍造兵廠火工廠十條兵器製造所
 昭和11年 陸軍造兵廠東京工廠銃包製造所
 昭和15年 東京第一陸軍造兵廠第一製造所

陸軍造兵廠火工廠時代の十條兵器製造所

通称、一造 (いちぞう)。古いことを良く知っている人は、今でもこの場所を「一造」って呼ぶことがあるよ。

昭和20年 (1945) 終戦

終戦後、昭和22年頃からはアメリカ軍に接収され、TOD (東京兵器補給廠) 第四地区となる。

TODは、アメリカ軍が利用した施設で、第四地区は、主に戦車の整備などを行っていたんだ。

昭和33年 (1958)

第四地区の一部がアメリカから日本に返還され、陸上自衛隊が入所。翌34年から、武器補給処十條支所として活動を始める。



陸上自衛隊が入所したころのようす (昭和35年頃)

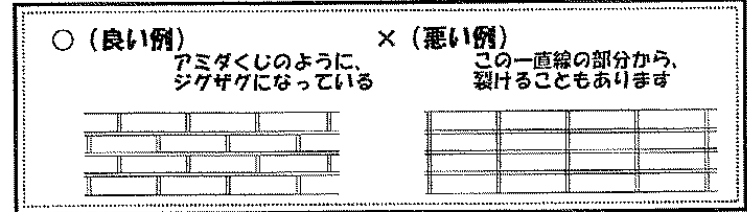
ちなみに...

返還された施設の一部は、民間の会社に貸し出されている。この275号棟も、東洋護謨 (ゴム) 化学工業が運営していたタイヤ再生施設 (通称・JTP) に利用されていた (平成元年に閉鎖)。

平成20年 (2008) 北区の新中央図書館として生まれ変わります。

レンガ 積み方の秘密

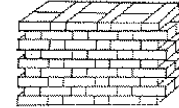
レンガは、つなぎ目 (目地) が一本の線にならないように積みなければいけません。



表に見えている部分だけではなく、内側の方までつなぎ目 (目地) が揃わないようにするためには、積み方は、いくつかのパターンに決まっています。

フランス積み

同じ段に、タテ向きとヨコ向きを交互に並べて、積み上げます。



イギリス積み・オランダ積み

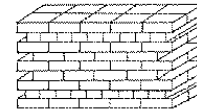
※イギリス積みとオランダ積みの違いは、主として角の部分の仕上げ方の違いです



一段ごとに、タテ向きとヨコ向きを並べて、積み上げます。

アメリカ積み

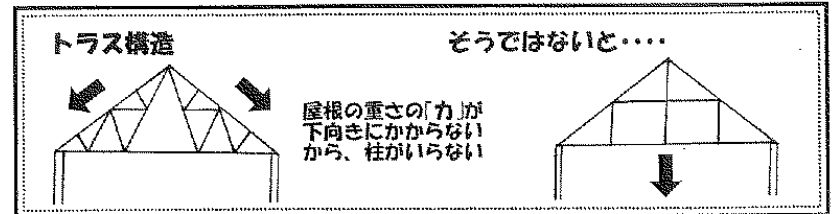
5層から6層おきにタテ向きで積み、他はヨコ向きで積みまます。



Q. 赤レンガ倉庫は、何積みかな?!

赤レンガ倉庫に柱が少ない理由 ～三角形の屋根に隠された秘密～

赤レンガ倉庫の屋根の骨組みは、三角形がいくつも組合わさった形をしています。こうした形 (トラス構造) は非常に強く、屋根の重さが直接下に働かないので、屋根を支える柱が少なくて済みます。工場など広い空間が必要な建物では、こうしたトラス構造の屋根になっている場合が多いのです。



赤レンガ倉庫は、「フィンクトラス」という構造になっているんだ!

赤レンガ倉庫の出入り口

赤レンガ倉庫の出入口は、全部で16カ所あります。
最も古い形式を残す出入口の形を確認すると、丸型のレールにつられた扉が、左右に開閉する構造になっていたことがわかります。



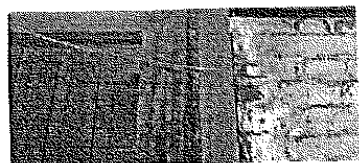
倉庫の名前は「275」

赤レンガ倉庫には、「275」と記したマークがところどころに確認され、ここが275号棟であったことがわかります。
いつ、どの段階から「275」となったか定かではありませんが、建設された当初の建物番号は、「133」であったことが確認されています。



内装は、漆喰(しっくい)の壁

倉庫の外側は、赤レンガがそのまま見えますが、内側に壁には、多くの部分で漆喰が残っています。したがって、この倉庫の内側は、仕上げとして漆喰が塗られていたことがわかります。
どのぐらいの厚さで塗られていたかは定かではありませんが、窓枠との段差を考えると、およそ1cmほどの厚さで仕上げられていたものと思われる。



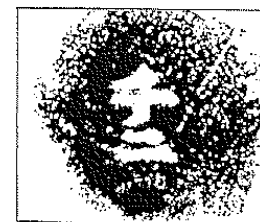
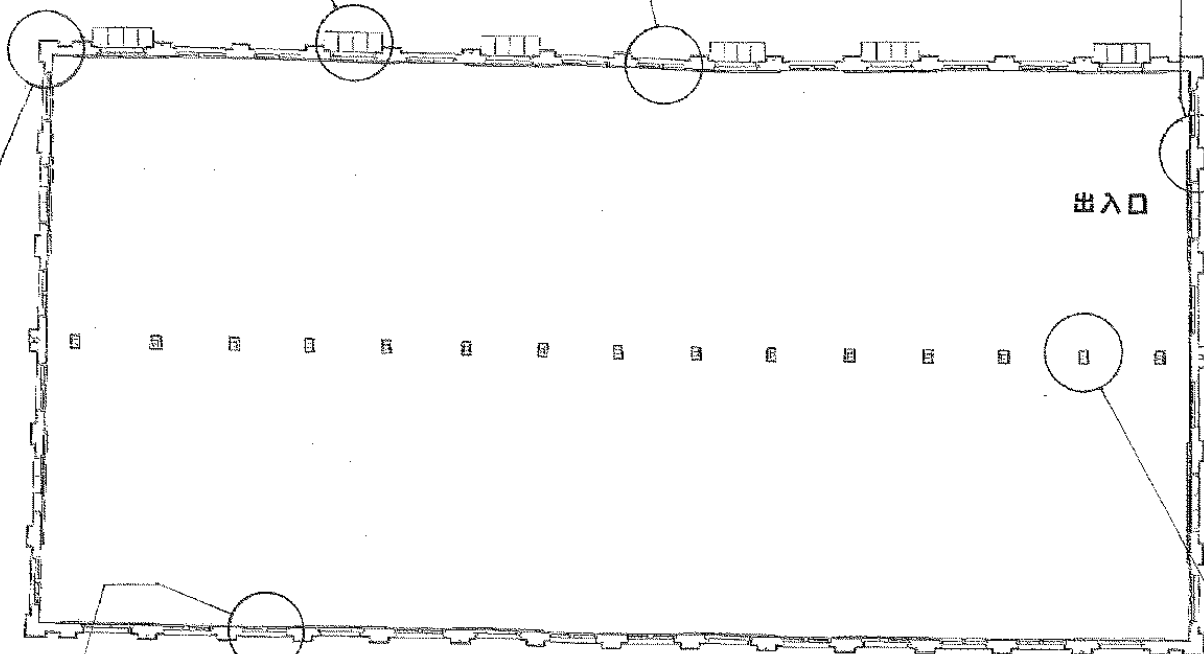
赤レンガ倉庫のココがスゴイ！！

赤レンガ倉庫は、南北(たて方向)54桁、東西(よこ方向)約27桁。
畳を敷き詰めると、900畳にもなります。

倉庫の窓は「上げ下げ窓」

赤レンガ倉庫の窓は、建設当時の姿を留めており、木製の「上げ下げ窓」であったことがわかります。

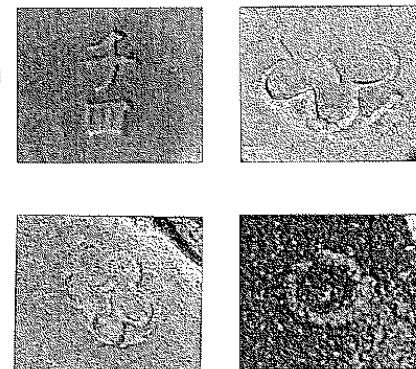
※ちなみに、写真の「チニ」は、足立区江北および北区堀船にあった、千葉煉瓦製造所が、大正7年に焼いたことを示す「刻印」です



レンガは「MADE IN 北区」?

レンガは、製造場所がわかるように「刻印(こくいん)」が押されているものがあります。
この赤レンガ倉庫に使われているレンガは、北区内のレンガ工場で焼かれたものも使われています。

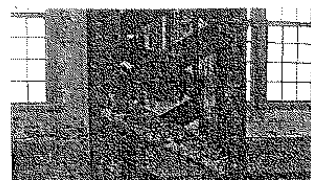
さまざまなレンガの刻印



※この他にも、赤レンガ倉庫では、いろいろな刻印が確認できるゾ!

八幡製鉄所で製造した鉄骨

明治34年(1901)、日本初の本格的な官営製鉄所として、北九州で八幡製鉄所が創業しました。
赤レンガ倉庫の鉄骨(ラチス柱)には、八幡製鉄所で製造されたことを示す「刻印」があります。



リベットでとめられたラチス柱



八幡製鉄所の刻印(写真はすでに解体された210号棟のもの)